



相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

相生歴史巡検

九月二十七日(日)、秋晴れの快晴の中、松本恵司先生を講師に迎え、二年生十名・一年生四名の十四名で相生歴史巡検に行ってきました。

今年、「矢野荘」の荘園鎮守を巡りました。古代の荘園がそのまま地方公共団体(相生市)となっている例は極めて珍しいので、この荘園が四つに区分され、それぞれ違った系統の神様を祀っているのです。大きな岩を御神体とする古代からの磐座(いわくら)神社、この地方の有力者であったとされる秦河勝を祀る大避神社、菅原道真を祀る北野天満宮から分祀された若狭野天満神社、鎌倉時代に矢野壯の地頭として派遣された海老名氏が源氏の守り神である鶴岡八幡宮から分祀された那波八幡神社の四つを中心に巡検しました。

今年新たに、犬塚(矢野町能下)と大避古墳一号墳(大避神社すぐ北側の前方後円墳)の巡検を行い、古墳の円部分(頂

上)まで道なき道をかき分けて上がりました。卑弥呼の時代から大きな前方後円墳を造ることを認められた強力な指導者がこの街にいたことにも驚かされました。

松本先生の、古代から現代にまで至る相生歴史もやま話を堪能し、ふるさと相生を振り返る素晴らしい一日になりました。



↑ 磐座神社



↑ 若狭野天満神社



↓ 大避神社



↓ 那波八幡神社

教育実習

九月七日(月)から九月二十九日(火)までの三週間、本校の卒業生三名が、教育実習のために母校に帰ってきました(一名 九月七日から九月十八日まで二週間)。



不安や緊張のなか、担当教諭のアドバイスを受けながら、授業観察や教材研究を積み重ね、成功・失敗を繰り返し、熱心に教科指導に取り組みました。また、部活動指導や体育大会などにも積極的に関わり、生徒たちと意欲的に交流しました。

この三週間、実習生にとっても、生徒たちにとっても、とても濃く、充実した時間になったのではないかと思います。(教育実習生の感想は、相高ブログに掲載しています)

神戸外大講義 四十回インスピニア事業

九月二十九日(火)七限、一年生を対象に、神戸市外国語大学の教授である野村和宏先生を講師にお招きして、「英語でコミュニケーション」効果的な音読のあり方」の講義をしていただきました。

講義では、モーツアルトの曲を楽譜通りに機械が演奏した場合とウインフィルがフルオーケストラで演奏した場合と弦楽五重奏で演奏した場合とを比較して、その伝わり方の違いを感じました。同じ楽譜でも、演奏者によって違う音色になることを感じました。さらに、映画のナレーションを聴いてその巧みさを味わいながら、生徒にとって理解しやすいように、また印象に残るように工夫して説明してくださいました。

特に、単語の意味と文の構造、伝えたいメッセージを理解したうえで読む練習をすること、新情報や情報量の多い語、アクセントのある音節はカッコウーに入っているようにはつきり読むこと、最初はくつきりゆっくり、次第に早く一息で、最終的には暗記して言うように練習をすること、など、読みの練習を実践するうえでのコツを具体的に伝授してくださいました。

生徒たちはペアワークで互いに読み合ったり、先生の範読に続いて音読したりしながら、英語の効果的な音読のあり方を学びました。先生はお話の中で、「英語はスポーツと同じで、与えられたことをするだけでなく自ら練習すること、そしてそれによって身体感覚を身につけることが大切だ」と強調されました。この講義で学んだことを英語において、さらには全ての学習において参考にしてもらいたいと思います。



さわやか挨拶運動

十月二十三日(金)、前日からの雨が降り続く中、相生駅北側ロータリーでは相生高校生徒会と地元の手一丁目自治会の方々と一緒に、「さわやか挨拶運動」を実施しました。

相高生と自治会の方の大きな挨拶の声のせいか、雨も次第に小やみになり、元気な声が雨を打ち払った「さわやか挨拶運動」でした。